

類農園新入社員研修（平成22年5月14日）

天気：晴れ時々雨

気温：肌寒い一日



丸一社長による、会社全体概要の説明と、農業に対する取り組みの説明、本日の注意事項について、聞き入る新入社員たち。



水菜のハウス。
水菜の葉は細かい為、普通に水やりをすると泥はねにより葉に泥が入り、商品として使用出来ない為、ハウスの両サイドのパイプから霧状の水を噴霧する方法で、管理しています。



メロンの定植準備。
等間隔に支柱を立てていき、支柱と支柱の間に、苗を植える為の穴を開けていく作業。
4畝あり1畝につき、110本の支柱を立てていきます。
実は、ここで栽培するメロンは、食用ではなく、種を作る為の栽培だそうです。契約先の翌年使用する種である為、失敗は許されないとか・・・
メロン苗は地面を這うのではなく、この支柱と支柱の間の空間にできるそうです。



休憩時間を利用して、記念撮影。
前列中央が、今回私たちを担当してくれた三重県出身の農業研修生のナガイさん。
実はまだ17歳！！しかし、解説力、知識、コミュニケーション能力はプロ級です。自分でも、よく研究し、類農園さんで寝食を共にして、1年6ヶ月だそうです。
農業を研修に来るお客様の大半を相手するそうです。
負けるな、新入社員！！



午前中の作業が終り、類さんの研修棟にて昼食を頂きました。持参したお弁当も喜んでもらいましたが、用意してくれた、自家製味噌を使用した野菜たっぷり味噌汁も、美味しかったです。

ここは、子供たちの農業学習室としても使用するみたいで、机とイスは子供サイズでした。正面には、ホワイトボードも設置してあり、まさに自然の中で学習する自然体験教室は、子供たちにも好評みたいです。



類農園のスタッフさん達です。皆さん優しい方ばかりで、いつもニコニコとしていたのがとても印象的でした。ほとんどの方が、寝食を共にしているので、家庭的な雰囲気がよく伝わってきました。



午後からは、類農園さんでも初めての取り組みという、自然薯の作付けの為の準備。両脇にある土をスコップや鍬で、畝を高くしていく作業で、実はこれが凄く大変で、慣れない作業に精一杯取り組みました。この日の気温は低かったにも関わらず、良い汗をかきました。



四苦八苦しなながら、何とか1畝完成させる事ができました。この中で、自然薯が栽培されます。担当のスタッフの方にも、「きれいにできてます」とお褒めの言葉を頂きました。



自然薯は、下に下に伸びていく性質があるらしく、地中に何か障害物や空洞があると、そこを避けて伸びていく為、まっすぐ栽培するのが難しいようです。そこで、このような砂を入れたパイプを地中に埋めて、この入口付近に苗を植えて、このパイプ内で自然薯が育つしくみになっています。土の上にある竹ひごは、パイプの入口を示す目印の役目を果たします。



自然薯の新芽です。無駄な小さい芽を取り去ってから、いよいよ作付けです。



スタッフの方の計らいで、自然薯の作付けも体験させてもらいました。植える向き（上と下等）が我々素人では、ほとんど見分ける事ができませんでした。芽や根の出る向きや方向、埋まったパイプ内に芽が入っていないといけないので、そこはプロの方からしっかり指導を受け、「この位置で」と言われた所に、植えました。収穫の時期は11月、今回私たちが植えた6つの苗には、「三晃さんの名札をつけておきます」と言ってくださいました。

今回の研修を受けた新入社員の皆さん、類農園さんでの体験を是非今後の人生に生かして下さい。それと改めて農業の厳しさや、重要性に触れる事ができた事への感謝の気持ちを今後の良い商品作りに繋げて行って下さい。

山本